

テーマ

「コロナ感染対策の振り返りと 今現在の予防策」

令和6年度東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修

社会福祉法人 共助会
特別養護老人ホーム 福寿園みなみ野
療養部長 中村京子

1. 施設の概要

当施設は1980年（昭和55）特別養護老人ホーム 福寿園として八王子市南浅川に開設。

2018年4月、八王子市みなみ野に移転。

従来型100床からユニット型100床・ショートステイ4床に変更。

2. コロナ感染を振り返る

昨年11月に2度目のクラスター

発生期間 : 令和5年11月11日~12月 3日(23日間)
12月13日終息

発生場所 : 1階2ユニット (協力ユニット)

感染者数 : 19名

利用者11人 (20人中)

職員 8人 (14人中)

3. 発生前までの対応

- ① 面会時の時間制限と年齢制限：1日6組・3名・30分、中学生以下は禁止 予約制
- ② 全職員週1回PCR検査（陽性者は病院受診し自宅療養）
- ③ 面会前にマスク、検温、手指消毒（正面玄関に設置）
- ④ 出勤時、体温測定とマスク・手指消毒の徹底（職員玄関に設置）
- ⑤ 食事介助・口腔ケア時はビニールエプロン、フェイスシート着用
- ⑥ 職員飲食時の間仕切り、黙食（会話時はマスク着用）
- ⑦ 居室・ユニット内の換気
- ⑧ ショートステイご利用に際し、お迎え時抗原検査実施
- ⑨ 職員全員に抗原検査キットを配布（自宅での迅速な検査の為）

4. 発生時に追加した取り組み

- ①感染多数の場合の対策として、ユニット全体を閉鎖し、他のユニットとの交流を避けた
- ②担当職員出入口を設置し交流を遮断
- ③担当職員の食堂と更衣室を設置し交流を遮断

5. 令和5年からの東京都感染症対策 即応支援チーム来所と研修会

初回クラスター（令和5年）

- ① 1月4日 初回クラスター発生から2日後来所されアドバイスを受ける
- ② 3月24日 来所され研修実施
- ③ 7月 来所され感染症対策リーダー研修実施
- ④ 11月7日 白十字社による研修

2回目のクラスター

- ⑤ 11月25日 発生から15日後に来所されアドバイスを受ける
- ⑥ 1月10日 来所され感染症対策リーダー研修実施
- ⑦ 2月14日 同上

6. 東京都の感染対策即応支援チームからのアドバイス

(令和5年11月25日來所)

- ①職員の食事は黙食。その後はマスク着用
- ②大声の会話や飲食は控える
- ③休憩時間は換気実施
- ④換気をする際、2方向に窓や扉を開け、サーキュレーターを窓や換気口に向けて 空気の流れを作る
- ⑤面会時、可能な利用者にはマスクを着用してもらい、室内の換気を行う
- ⑥手指消毒は消毒液が乾くまで手をすり合わせる
- ⑦むせ込みがある方を介助する場合は、ゴーグルやフェイスシールドを着用
- ⑧利用者の口元を拭う場合は手袋を着用

6. 東京都の感染対策即応支援チームからのアドバイス

つづき

- ⑨利用者毎に手袋の交換をする
- ⑩手指消毒液を入れるポシエットは定期的に洗濯をする
- ⑪髪からの感染の可能性は低いので、ヘアキャップは不要
- ⑫フェイスシールドを再利用する際は手袋を着用し、消毒液が含まれたクロスを用いて内側から外側の順番で一方向に消毒
- ⑬手袋は二重にしない
- ⑭感染用のごみ袋は一重で良い。手袋を着用し、ごみ集積場に出す
- ⑮歯ブラシのヘッドは上向きで乾燥させる。またカートは飛沫が飛ばない位置へ移動
- ⑯様子観察や配膳のみの場合など、直接介助をしない場合は、ガウンキャップはいらない

7. 振り返りと反省

①ゾーニングの見直し

- ・1階（2ユニット）を閉鎖し、フロアー全部をレッドゾーンとしてしまい、グリーンゾーン（休憩室）をレッドゾーンが囲む形となった
- ・**レッドゾーンを広げすぎた為**、清潔区域が休憩所だけとなってしまった
- ・全室個室なので**個々の居室対応**で良かったのではないかと

②休憩室での感染拡大

- ・**マスクを外した状態で食事時や休憩中に会話をしていた**
- ・職員間での感染拡大が見られた（11/13～11/20日の8日間に8人）
- ・ドアノブの清掃が出来ていない

③必要物品の準備

- ・居室内で使用する**物品の補充**がうまく出来なかった

④マニュアルについて

- ・発生ユニットの構造や特性を考えて、**マニュアルの見直しが必要**

8. 現在の状況

大きな変化は⑤～⑬番

- ①施設における感染対策の基本を遵守
 - ・施設に**持ち込まない・広げない・施設や部屋から持ち出さない**
- ②出勤時の検温と手指消毒
- ③アルコール消毒の携帯
- ④勤務中マスク着用（飲食時のみ外す）
- ⑤面会制限は解除。家族面会時は手指消毒、検温、マスク着用
- ⑥差し入れは居室内で食べる量だけ可(果物は栄養課で洗浄しカットして提供)
- ⑦体調不良時は速やかに病院受診し、医師の指示に従う
- ⑧外部ボランティアの受け入れ開始
- ⑨清掃会社との協働
- ⑩外出・外食可
- ⑪感染症対策委員会での検討
- ⑫週1回のPCR検査は終了
- ⑬ショートステイお迎え時の抗原検査終了

9. その他の対策

①個室対応の為、レッドゾーンを狭く設定

②定期的な研修の実施

- ・ 外部講師
- ・ 東京都の感染対策リーダー養成研修事業 公開講座受講
- ・ コロナ以外の感染症の研修の実施

③マニュアルの見直し

- ・ 高齢者施設・障害者施設向け感染症対策ガイドブック(令和6年2月)
- ・ 高齢者施設・障害者施設の新型コロナウイルス感染対策事例集(令和3年10月)

10. まとめ

昨年11月以降、利用者様の感染は有りません。

ご家族様や職員の『持ち込まない為の努力』の賜物だと思います。

これからインフルエンザ等の感染症の季節を迎えます。コロナ以外の感染症にも気を付けて、全職員で感染防止に取り組んでいきたいと思ひます。



ご静聴ありがとうございました

